

新型コロナウイルス感染防止マニュアル

北海道ドッジボール協会

本大会は、出来る限りのコロナ感染予防対策を徹底して行います。
本マニュアルを周知して下さい。

1. 募集・申し込み

感染拡大の防止のために参加者は以下の事項を遵守すること。なお、これを遵守できない参加者には、他の参加者の安全を確保する等の観点から参加の取り消し、又は途中退場とする。

- (1) 以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせる。
 - ① 体調がよくない場合(例:発熱(37.5 度以上)・咳・咽頭痛などの症状はある場合)
 - ② 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
- (2) 参加者はマスクを持参し着用すること。
- (3) こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。
- (4) 他の参加者、主催者スタッフ等との距離を十分に確保すること。
(障害者の誘導や介助を行う場合は除く)
- (5) 大きな声で会話、応援等をしないこと。
- (6) 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと。
- (7) 大会終了後1週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに大会参加時の濃厚接触者の有無(有の場合はチーム・名前)等について報告すること。

2. 開場・受付

主催者は、大会当日の開場・受付時に参加者が密になることへの防止や、安全に大会を開催・実施するため、以下に配慮して開場・受付事務を行う。

- (1) 受付窓口には、手指消毒剤を設置すること。
- (2) 発熱や軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある人は入場、受付手続きをしない。
- (3) 大会参加者は、会場入り口にて体温測定、手指消毒を行い入場すること。
- (4) 大会参加者は、バイタルチェック表を受付時提出すること。
バイタルチェック表に氏名の無い方の入場は不可とする。

3. 観客席

大会参加者・観客同士が密な状態とならないよう、必要に応じ、あらかじめ観客席の数を減らす等の対応をとる場合がある。

また、応援する場合は他の応援者との距離を十分に確保すること。

4. 監督会議

「密」を避けるため間隔を十分に確保すること。

5. 選手

- (1) 選手はプレイ中以外マスク着用。
- (2) プレイ以外の不要な接触は避ける
- (3) 試合中、飛沫予防のため大声での声掛けは避ける。
- (4) 試合前及び試合終了後の手指消毒(手洗い)の徹底
- (5) 選手待機場所では、マスクを着用し選手間距離を十分に確保すること

6. チーム役員

- (1) 常時マスク着用
- (2) ミーティング等は極力手短に。
- (3) 試合終了後、ベンチ(座席)を消毒する。
- (4) 試合終了後スコアカードに各自持参したペンでサインすること。

7. 審判員

- (1) 当日朝、運営審判員用バイタルチェック表に体温等を記載。
- (2) 熱中症防止の観点より、試合中のマスク着用は各自の判断とする。
- (3) 手指消毒の徹底。
- (4) 旗の消毒の徹底。
- (5) ボールの消毒の徹底。
- (6) 昼食中は黙食。
- (7) 試合中は、新型コロナウイルス感染拡大対策用審判手順マニュアルに沿って行う。
- (8) 開催中に体調に変化を感じた際は速やかにコートリーダー若しくは大会本部に申し出ること。
- (9) 待機中はマスクを着用すること。

8. 競技

- (1) 試合開始、終了時の整列はセンターラインより1m 離れ、声を出さずに礼のみとする。
- (2) コート内、外での不要な接触を避ける。
- (3) ボールは、毎試合消毒したものを使用する。
- (4) 試合終了後の選手の入替えは一方通行。
- (5) 予選全試合終了後、コートにモップをかける。

9. 飲食

応援席で飲食をする場合は、黙食を徹底すること。

10. その他

- (1) 試合前後、通路でのミーティングは行わない。
- (2) 試合中、指導者、及びベンチ入り選手はマスクを着用する。
- (3) ベンチは間隔を空け配置する。ベンチ入り選手は間隔を空けてベンチ脇に立つ。
- (4) タオル、水筒等は個人用の収容袋等で管理し他の者は触れないように対策を行う。
- (5) 新型コロナウイルス感染予防に必要な物品は各自用意すること
- (6) 鼻水、唾液などが付いたゴミは、ビニール袋等で密閉し各自持ち帰り処分すること。

以上

第1版 令和2年 12月 7日
第2版 令和3年 5月 14日
第3版 令和4年 2月 5日
第4版 令和4年 5月 25日
第5版 令和4年 7月 6日
第6版 令和4年 8月 10日
第7版 令和4年 10月 23日